



インフルエンザ
対策

京都府丹後保健所 HP バナー

No.32

インフルエンザ NEWS

編集／発行 **京都府丹後保健所**
(丹後広域振興局健康福祉部)
保健室 感染症・難病担当
〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所

検索

パ
ミ
ッ
ク



もうすぐ俺様の活躍する季節が来るぜい！
今年も暴れまくるぜい！

もくじ

- ・感染症を正しく知り、正しく恐れる……………①
- ・インフルエンザ発生動向……………①
- ・管内市町新型インフルエンザ等対策行動計画に係る有識者会議を開催しました……………②
- ・鳥インフルエンザ総合訓練を今年も11月5日に実施しました！……………①
- ・京丹後市立弥栄病院で新型インフルエンザ対応訓練が行われました……………②

*** 感染症を正しく知り、正しく恐れる ***

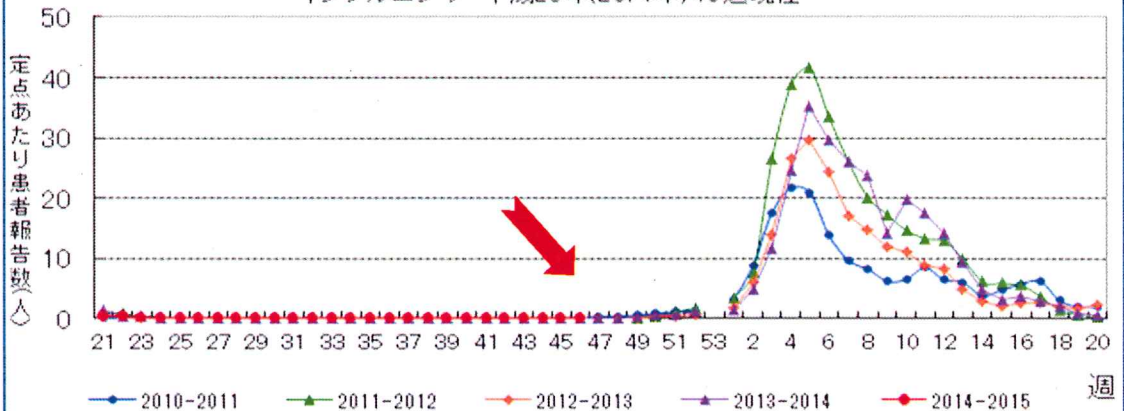
今年はデング熱やエボラ出血熱など、感染症に関する話題が世間を騒がせました。

感染症は、菌やウイルスなど病原体の種類によって、感染経路や病状、消毒法が異なるため、それぞれに応じた対策が必要となります。

どのような場合に感染するのか、何に気をつけたらいいのか、単に恐れるのではなく、正しい知識を持って、感染症に向き合い、予防していきたいものです。

現在、46週です。管内でもインフルエンザの発生報告が拳がり始めています。流行前にワクチンの接種、手洗い・うがいの励行など実施しましょう。

京都府感染症発生動向調査 最近5年間の推移
インフルエンザ 平成26年(2014年)46週現在

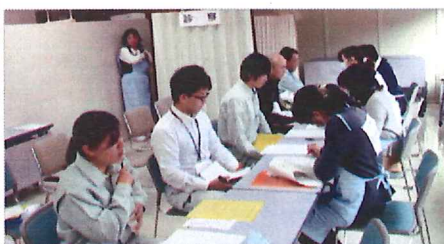


鳥インフルエンザ総合訓練を今年も11月5日に実施しました！

丹後管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したことを想定し、府の職員、市町の職員など、約60人が訓練に参加しました。

当日は午前9時に異常家さん発生の情報伝達から始まり、スターターチーム(初動対応班)の出動、防疫作業員の健康チェックや防護服の着脱訓練などを実施しました。

鳥インフルエンザは、京都府では平成16年を最後に発生していませんが、今年は日本各地で野鳥から鳥インフルエンザウイルスが検出されています。今後、いつどこで発生するか予測できないことから、迅速な初動防疫体制の確立が重要です。今後も訓練を積み重ね、各機関との連携を強化し、取り組んでいきます。



作業前健康相談



今年も実際の農場現場での訓練を行いました



オリエンテーションの様子

京丹後市立弥栄病院で新型インフルエンザ対応訓練が行われました

10月24日に、弥栄病院で、新型インフルエンザの患者の診察や医療従事者の防護服着脱、患者搬送などの訓練が行われました。

<http://www.city.kyotango.lg.jp/shisei/kikan/hospital/yasaka/news/oshirase/00049/index.html>



① 帰国者・接触者外来

他の外来患者との接触を避けるため、専用の外来で診察します



② 患者の誘導

患者は車で待機し、防護服を着た看護師が誘導します



③ 診察と検査

簡易検査でA型と判明すると新型インフルエンザの可能性があると説明します



④ 患者の搬送

入院治療の必要がある場合は管内の感染症指定医療機関へ搬送します



⑤ 防護服の着脱

ウイルスの飛散、医療従事者への感染を防ぐため、防護服の外側に触れないように脱いでいきます



⑥ 反省会

終了後の反省会で、患者受け入れの準備から診察までの流れ、防護服の着脱時の注意点などを再確認しました

京都府立医科大学附属北部医療センターでは、4月16日に実施され、久美浜病院でも今後実施される予定です。

★管内市町新型インフルエンザ等対策行動計画に係る有識者会議を開催しました★

去る10月6日に丹後保健所において、与謝医師会、北丹医師会、協力医療機関である京都府立医科大学附属北部医療センターの医師、丹後保健所長を有識者として、管内市町が新型インフルエンザ特措法に基き策定した市町村行動計画について、意見交換を実施しました。

会議では、主に新型インフルエンザ対策の重要な柱となる医療対策や予防接種等について、話し合われました。今後は、各市町の議会や知事に計画が報告され、年内に公表される見込みです。